

LINE Creators Market、2018年6月度の月間 MVP は、 スタンプ初発売と思えない活躍！高知県須崎市観光大使を務めるゆるキャラ ちいたんさん「全カカワウソちいたん☆」に決定

ダウンロード数 1 位は hidekicchan さんの「犬と猫どっちも飼ってると」、
クリエイター別累計ダウンロード数 1 位は二次元の白猫がかわいい「まふまふ」さんが獲得

LINE 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：出澤 剛）は、ユーザーが LINE スタンプを制作・販売できるプラットフォーム「LINE Creators Market」<https://creator.line.me> において、2018年6月度の MVP が「全カカワウソちいたん☆」に決まりましたことを、お知らせいたします。



全カカワウソちいたん☆
ちいたん

「LINE Creators Market」は、世界中の LINE ユーザーが LINE スタンプ／着せかえを制作・販売することができるプラットフォームです。現在販売中のスタンプは 130 万セットを突破、LINE クリエイターズスタンプから誕生したキャラクターがグッズ化・アニメ化されたり、企業とのコラボレーションを行ったりする事例も数多く生まれています。また、毎月のダウンロード数ランキングなどを元に優秀なクリエイターを表彰する「月間 MVP 制度」を設けており、受賞者には公式スタンプの販売権や、LINE 公式アカウント開設権などの特典が与えられ、クリエイターの創作活動の場のひとつとして成長を続けています。

そして、2018年6月度の MVP は、ちいたんさん「全カカワウソちいたん☆」に決定いたしました。ダウンロード数部門 2 位、そして動くスタンプ部門で 1 位を獲得したことから、LINE スタンプ初発売にしていきなり月間 MVP に決定しました。

クリエイター部門では、白猫な 2 次元の姿と黒髪の 3 次元の姿を使い分ける「まふまふ」キャラクターが人気の「まふまふ」さんが 1 位となりました。ダウンロード数部門 1 位は、犬と猫の和む日常の様子がスタンプになった、hidekicchan さんの「犬と猫どっちも飼ってると」が受賞しました。



まふまふ



犬と猫どっちも飼ってると
hidekicchan

LINE

各ランキングの TOP10

ダウンロード数ランキング

- 1位 : 犬と猫どっちも飼ってる
- 2位 : 全力カワウソちいたん☆
- 3位 : 表情ゆたかな東方 Project 日常スタンプ
- 4位 : ヨシタケシンスケのスタンプもあります 2
- 5位 : うごく! メンヘラちゃん。
- 6位 : メンヘラちゃん。 5 (夏)
- 7位 : うごく! もふピヨ 2
- 8位 : MAMBO by Izumi Shiokawa
- 9位 : 東方 Project 紅魔郷スタンプ
- 10位 : 幻想郷の少女たち。(東方 Project スタンプ)



クリエイター別ランキング

- 1位 : まふまふ
- 2位 : (株)広島東洋カーブ
- 3位 : ゆず
- 4位 : 株式会社エムアップ
- 5位 : ジョイネット
- 6位 : 埼玉西武ライオンズ
- 7位 : hidekicchan
- 8位 : 講談社
- 9位 : ちいたん
- 10位 : riekim



動くスタンプのランキング

- 1位 : 全力カワウソちいたん☆
- 2位 : 動く! オーバーロード
- 3位 : アズールレーンアニメーションスタンプ Vol1
- 4位 : うごく! メンヘラちゃん。
- 5位 : うごく! もふピヨ 2
- 6位 : おはぎ(動) 6
- 7位 : すこぶる動くちびイヌ
- 8位 : パンダ in ぱんだ (うご 11~応援~)
- 9位 : 動く! けんさくとえんじん 2
- 10位 : 【好きな人を応援!】アモーレ♡くまくま



【月間 MVP 制度とは?】

スタークリエイターの発掘を目的に、2015年5月にスタート。ダウンロード数、アニメーションスタンプのダウンロード数*1、クリエイター別の累計ダウンロード数*2のランキングトップ10を毎月発表。各ランキング1位のスタンプの中から、月間 MVP を決定します。

*1 前月 21 日~該当月 20 日の期間に販売開始されたスタンプを対象とし、販売開始後 10 日間の数値を計測。

*2 販売中のスタンプを対象に、クリエイターごとの期間内(前月 21 日~該当月 20 日)の合計数値を計測。

LINE では、「LINE Creators Market」を通じて、クリエイター活動におけるエコシステムの構築を目指していくとともに、スマートフォンにおけるコミュニケーションインフラとして、グローバルなプラットフォーム展開を引き続き推進してまいります。